

響け若者の声

対話から始まる政治参画

未来への提言

このページを開いた皆さまは、この街にどんな未来を描いていますか。ここに浮かぶ風景はどこですか。故郷の魅力は何ですか。

霧島？ぱつと思いつくものが出ない…あまりにも身近にありすぎて、意外と「気付いていないだけ」かもしれません。

フューチャーデザインから考える自分たちの街。

ここが好き、あの場所からの風景が好き…シンプルにそれだけでいいんじゃない。大好きな私たちの街、霧島市。

こんな「対話」が聞こえてきそうな今回の特集。



生活と政治は切っても切り離せない関係性があるにも関わらず、若者の政治離れが叫ばれている今日。今回の特集は若者世代に学ぶ私たちの新しい挑戦、そして取組です。



若い世代から学ぶこと

若い世代からの意見や想いを広く聴くこと。そのコンセプトを軸に協議を重ねました。

想いや声を真摯に受け止めて、若い世代が政治へ参画することで政策への手応えを実感できる社会をつくるのが今、議会に求められる役割ではないでしょうか。

「政治に無関心でも無関係ではいけない」…よく聞く言葉です。

この数年で多くの社会課題が顕在化されてきました。誰もが感じている人と人のつながりの重要性と地域コミュニティの希薄化。相反するこの2つは今を生きる若者にどのように映っているのでしょうか。

若い世代から学ぶこと

今回、若者が素直な想いを飾りつくるわず、ありのままに語る時間と空間を用意してみました。

これからの街、そしてこれからの未来を託す若者に、自由に語ってもらいました。世代間のギャップや捉え方の乖離。大人は学んできたことを教えてくれます。

では若者から学ぶものは。ページをめくると…霧島の未来を想い、描く物語が始まります。



取材にご協力いただいた皆様

- 霧島市立国分中央高等学校
 - 第一幼児教育短期大学
 - 鹿児島工業高等専門学校
 - 若手社会人
 - 第一工科大学
- 合計 23 名